

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3071500247
法人名	有限会社メディカルサービス有田
事業所名	グループホームゆりのき苑
所在地 (電話番号)	和歌山県有田市千田403-1 (電 話) 0737-85-3977

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会
所在地	和歌山県和歌山市手平2丁目1-2
訪問調査日	平成19年 9月 22日

【情報提供票より】(19年8月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 8人, 非常勤 9人, 常勤換算 7.3人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/ <u>単独</u>	新築／改築
建物構造	鉄骨造り	
	2 階建ての	1 階 ～ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円)	<u>無</u>	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数		18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1		1 名		要介護2		6 名
要介護3		6 名		要介護4		5 名
要介護5		0 名		要支援2		0 名
年齢	平均	85 歳	最低	73 歳	最高	101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	楠本内科医院 ・ 栗原整形外科 ・ 石垣歯科
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街の一角にあり、周囲の民家と全く同じ雰囲気です。違和感なく地域に溶け込んでいる。常時開放されている玄関は、誰でも立ち寄りやすい親近感を生み、地域との繋がりを重視する真摯な姿勢が窺われる。また、認知症をその方の個性として捉え、代表者・管理者・職員が一丸となって利用者と共に過ごす日々の生活について真剣に取り組んでいる。明るい笑い声と楽しそうな会話が自然体として感じられるグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価での指摘事項について、畳ござにすべり止めテープを施す等の対応が行われている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、目的、意義について認識され、会議において職員全員で意見を出し合い再確認し、管理者がまとめ自己評価を作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、評価の取り組み状況を説明し、細部にわたって話し合っており、また、様々な議案を検討してもらう中で、防災においては、経験を元に危険箇所等の情報を頂いたり、行事实施については、駐車場の確保、交通整理等への協力の申し出も頂いている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム苦情相談窓口を設置しており、毎月1回「たより」を発行、暮らしぶりを写真で示し、コメントを記入して報告している。また、家族を交えての忘年会等の行事を行い、交流を通じて意見を出して貰うよう工夫し、今後の運営の参考にしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、清掃、草刈り等地域行事には積極的に参加され、学校の職場体験も受け入れている。また、ホーム主催の行事にも地域の方々の多数の参加もあり、地域の一員としての連携が取られている。

2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、その一員として利用者と共にゆったりとした楽しい生活が送れるようにと事業所独自の理念を持ち、意識して取り組んでおられる。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念については管理者・職員共に十分に理解しており、共に取り組む姿勢が窺われる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員として自治会に加入し、恒例となっている清掃や草刈・地区対抗のソフトボール大会の応援等には職員と利用者が共に参加している。また、寺主催のカラオケ大会、小学校の運動会や生きがい学習、中学校の職場体験、高校の実習等交流の機会が多く、特に事業所主催の夏祭りをきっかけに親しく近所付き合いがはじまっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義は管理者・職員共に理解し、改善に向けた取り組みも積極的になされている。自己評価については会議の折に全員で意見を出し、管理者がまとめている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、評価の取り組み状況を説明し、細部にわたって話し合っており、また、様々な議案を検討して貰う中で、防災については今までの経験を元に危険箇所等の情報を頂いた。また、夏祭りの実施については進んで交通整理等協力したい旨の申し出があり大変有難かった等々着実に成果が得られている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは常に連携を図っており、地域からの情報を伝える中で、研修等の情報提供を受けている。また、利用者の対応についても個々に指導・助言等協力して貰っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回家族宛のたよりを発行しており、暮らしぶりについては写真で、また、各利用者の様子はその中にコメントを入れてお知らせしており、金銭管理については金銭出納帳を開示している。	○	職員の異動については、家族の面会時等に紹介している。しかし、全ての家族に伝わっていない事も考えられる為、たよりを活用して職員体制を分かり易く紹介し、より親しめる関係を構築される事が期待される。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に出席して活発な意見を出してくれており、運営に反映させている。また、家族の面会時や電話での報告等の折にも努めて意見を聞いている。	○	家族を交えて忘年会等行事を行っており家族同士の繋がりは行事の度に増しつつある。また、意見等表出し易いように無記名でのアンケート実施を予定している。さらに積極的に取り組まれる事を期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動等は最小限に抑えており、交代に際しては利用者が不安にならないよう、敢えて新入職員の紹介の方を強調している。また、退職した職員も遊びに来てくれる関係が保てており利用者へのダメージは防ぐ事ができている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には交代で参加し、その報告書を元に全員がレベルアップを図れるシステムが出来ている。また、特に計画は立てていないが内部研修も随時開催している。新入職員は先輩職員から学ぶ体制も出来ており、職員はそれぞれに向上心を持って資格取得を目標に努力している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホーム同士での相互実習・交流を行っており、情報交換と共に改善点等を見出し、サービスの質の向上に成果を得ている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用に慣れて頂くために見学に来て貰う等、個々に工夫を凝らし馴染んで貰えるようにしている。家族も一緒に泊まって貰えるよう準備をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ドライブが大好きな方や、調理や盛り付けの指導をしてくれる方、また、繕い物や洗濯を進んでされていたり、暮らしの知恵やことわざに詳しい方等、職員は常に学ぶ側に位置している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりについて、ドライブや散歩・入浴時等会話が弾む場面・機会を把握してその思いや意向を聞きだす努力をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	「疑問質問ノート」を作って各自が気付いた時に自由に書き込み、それを元に「みんなの意見」を他の職員が書き込み、最終的には「今後の取り組み」として主に管理者がその気付きを会議の場で確認し検討した上で介護計画に生かしていく方向性を明示している。また、合同のケース会議も定期的を持ち、本人・家族・必要な関係者との話し合いも十分にされ、その意向も確認している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	「疑問質問ノート」により職員の気付きを無駄にせず、現状に即した計画がスムーズな流れの中で作成され、職員間の意思統一も図れて、十分な対応がなされている。また、生活上の課題に関連した利用者の訴えや発言等をそのまま介護記録として活用するシステムをとっており見直しが迅速に行われている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制加算をとって医療・健康面の支援を行っている。また、外泊支援やカラオケ、温泉、高校野球の応援等個々の特別な外出支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医から定期的に往診があり適切な医療が受けられるよう支援している。専門科の受診や以前からのかかりつけ医への受診を希望される場合には、その意向に添って支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時には重度化した場合や終末期の対応について説明し、理解して頂いた上で意向を確認している。利用者の状態が悪化した時は、繰り返し話し合いながら対応し、現在その回復を全員で喜んでおられる。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	親しみを込めた会話の中にも、利用者の自尊心を損なわないように十分に配慮している様子が窺われる。また、個人情報の保護や秘密保持についても徹底されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、自然に過ごせるよう配慮されている。外出等も声かけはするが、無理には勧めず、本人の意志を尊重して希望にそって支援している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と共に献立を考えたり、行きつけの店の売り出し商品をチェックして購入するものを選んでいく。店員にも充分理解して貰っており、買い物時も協力が得られている。調理においても回想療法も兼ねて昔馴染みの調理法等取り入れており、全般において一緒に楽しみながら一人ひとりの力を活かして貰う良い機会になっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前6時以降夕食後位までは対応が可能で、一人ひとりの希望やタイミングに合わせていつでも入浴を楽しんで貰っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜づくりや花づくりの場面では水やり・草ひき等、また、近隣の花畑を見せて貰って参考にすることもあり、ここでも近隣とのつながりが深められている。また、利用者の関心のある事柄に合わせ職員が外出を促がす等、利用者一人ひとりに合った楽しみが見い出せるよう支援されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外食やカラオケ、喫茶等利用者の希望に沿って外出の機会を持っている。また、食材の購入は配達して貰わずに店に出かけて行く事にしており、日常の買い物を楽しみになっている。		
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者・職員共に鍵をかけることの弊害を十分に理解しており、玄関は風雨の強い日等特別の事がない限り開け放っており、いつでもぶらりと立ち寄れる雰囲気である。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防の協力を得て近隣者・利用者と共に避難訓練を行っている。地域の消防団に入っている近隣者もおられ、協力を得られる体制が出来ている。また、反省会でも活発な意見が出て、次回は敢えて夜勤時間帯の火災等を想定した訓練を実施する予定になっている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は毎食把握し記録している。水分量についても好みに合わせて工夫しながら十分に摂れるよう支援している。また、ミキサー食・きざみ食等一人ひとりに合った調理方法も考慮している。栄養バランスについても1日30品目を目安に意識しておられ、特に摂取し難い鉄分等については工夫をこらしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	集いの場となっているござ敷のコーナーは段差がないので、下肢の不自由な利用者でも自分でスリッパを脱いで上がる事が出来、周囲は滑り止めテープできちんと止められており違和感なく工夫されている。近隣者が届けてくれる季節の花が色合いを添え、居心地の良い共用空間が確保されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や好みの物を活かして居心地良く過ごせる様工夫されている。テーブルの上にトイレットペーパーを置かざるを得ない状況の利用者には、手作りの可愛いカバーをかけてあり、その心配りが窺われる。		